

## 環境建設工学科 在学生の声



佐藤奈々（さとうなな）さん

出身：東京都・青山高校

所属：土木工学コース

本人（右）

学年：3回生

### 環境建設工学科土木工学コースの志望理由

---

私は高校まで実家のある東京で過ごしていたので、3.11の東日本大震災では、それまでに経験したことのない強い揺れを感じたこともあり、地震に興味を持ちました。また、母の実家が愛媛だったので進学先を愛媛で考えたところ、愛媛大学の環境建設工学科では地震工学や防災の分野も学べることを知り、環境建設工学科の土木工学コースを志望しました。

## 将来のキャリアパスについて

---

将来の就職先は土木工学の専門知識を活かして、人々の生活を支えるインフラ構造物を造っていく建設業に興味を持っています。まだはっきりとは決まっていますが、環境建設工学科で学んだ知識・技能を活かして人々の暮らしを守り、安全・安心な社会に貢献できるような仕事に就きたいと思っています。

## 大学生のライフスタイル

---

大学生活の良いところの一つが、長期の休みを利用して友達と気軽に海外旅行に行けることだと思います。海外では、日本とは違った価値観、世界観に触れることができ、今まで当たり前だと思っていたことも自分の中で大きく変化するきっかけになります。また、より実践的な英語の学習にもなります。

去年の春休みに友達とシンガポールに行ったときには、目的地になかなか行くことが出来ず、拙い英語で頑張って会話しましたが、分かってもらうにはとても時間がかかりました。悔

しかったのでもっと語学の勉強を頑張って、国際感覚を身につけたいと強く感じた経験です。

環境建設工学科では KSA という学科の留学プログラムがあるので、ぜひ参加してみてください。留学や海外旅行は、いろいろなものや人々に触れて異文化を経験でき、大学生活の楽しい思い出の一つにできるのでとてもおすすめです。

## 環建ライフの良いところ

---

実際に構造物の建設現場を見学したり、大きな機械を使った実験をしたりと座学だけでなく実際に身体を動かして、見て、聞いて、学ぶことのできる授業があるのが良いところだと思います。授業数が少し多いので、テスト期間やレポート課題に追われる期間は、しっかりと計画して勉強していかないと後々大変です。そのおかげで、計画性をもった勉強ができるようになり、日々の生活も効率良く過ごすことができるようになったので、よかったです。

## 受験生の皆さんにメッセージ

---

他学科に比べ授業数は少し多いですが、その分たくさん専門分野を学べるところが環境建設工学科の良いところです。土木関係に興味のある方は、尚更そうです！少しでも興味のある方は、環境建設工学科で学ぶことができる専門分野を知るためにオープンキャンパスに行くのがおすすめです。高校のときとは違って、大学生活は勉強からサークル、アルバイト、遊ぶこともすべて自分の意欲次第で充実したものにも中身の無いものにもなります。たくさん欲張って、いろいろなことを学んで、楽しんでくださいね！

## 今頑張っていること

---



本人（センター）

私は小さい頃からダンスを習っていたので大学でも続けようと思い、1回生からダンスサークル（BeatStreet）に所属しています。その中でもJAZZというジャンルのダンスを踊っています。

写真は、去年の大学祭で発表したときのリハーサル時のものです。大学祭以外にもたくさんの発表の場があり、サークル活動は少し忙しいですがとても充実しています。発表が終わった後の打ち上げはメンバー全員で盛り上がり、とても楽しいです。先輩や後輩、他学科の友達などたくさんの人と関われるので、サークル活動は大学生活には必須です。